

「維持管理・更新に係る情報の共有化、見える化」に関するこれまでに頂いたご意見

No.	意見
1	市民はこれまで作ることが続いてきて縮小には慣れていない。「市民の意識」も課題。
2	データベースの整備については、市町村の体制をどう底上げしていくかが重要。道路メンテナンス会議の役割は大きい。
3	各データベースを串刺しにして運用できることが重要である。隣の市の事例等がみられるようになるとよい。
4	データベースの一元管理については、その危うさを東日本大震災で経験した。リスクマネジメントも含めて検討しなければならない。
5	情報の入れ方が間違っているとデータベースの串刺しができない。このため使い手に対する研修の取り組みや用語の統一等の取り組みは必要。また、一元管理の観点からデータベースの構築は都道府県単位で行うのが適当では。
6	データベースに関する記述について、用語の統一を図るべき。また、形状、位置など幾何学的情報の記録をどうするか。
7	国交省ではCIM(Construction Information Modeling)があるので、その活用、検討を。
8	維持管理の知識は長年の経験や師匠の教えがものをいう。情報が個人から個人へ受け継がれるが、それを形として受け継ぐことは必要。そういったことを含め情報の蓄積を検討すべき。